MICROCHIP

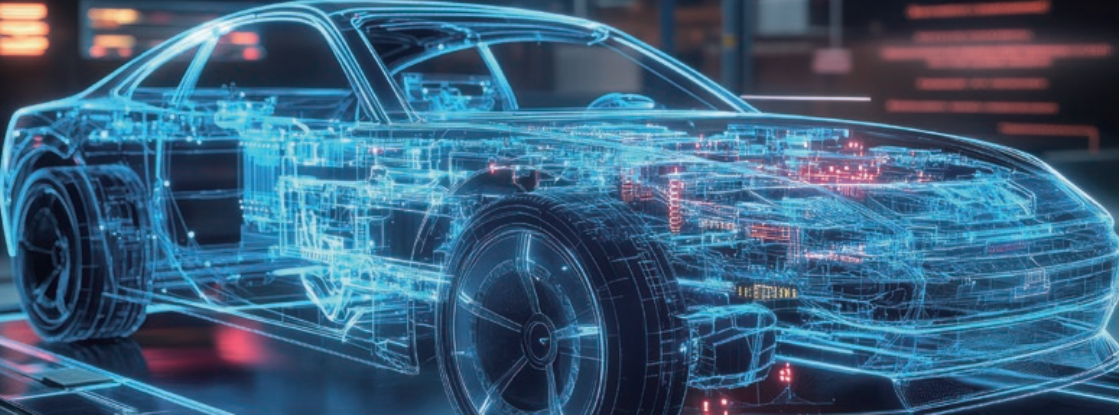
Japan MASTERs

Technical Training Conference on Embedded Control



2027年2月25日(木)~26日(金)
浜松町コンベンションホール

mchp.us/jpmasters



Microchipのシングルペアイーサネットがリモートコントロールプロトコルに対応

LAN866xによるよりスマートな一元管理

LAN866xファミリの10BASE-T1Sリモートコントロールプロトコル(RCP)対応エンドポイントは、エッジノードで効率的かつ安全な機能を直接提供することで、イーサネットネットワーク設計を合理化します。この一元的なアプローチにより、各ノードにコードを配置する必要がなくなり、市場投入までの時間が短縮されます。これらのエンドポイントは、ゾーンネットワーク内での使用に最適であり、全イーサネットアーキテクチャを実現します。MicrochipのVelocityDRIVE™自動車用イーサネット製品ポートフォリオは、補完的なシングルペアイーサネット(SPE) PHY、スイッチ、ブリッジを包括的に提供し、SPEソリューションのあらゆるニーズに対応するワンストップソリューションを実現します。

主な特長

- OPEN Alliance リモートコントロールプロトコル(RCP)とSOME/IP
- gPTP
- TC10/14
- ISO26262 ASIL B
- AEC-Q100グレード1(-40°C～125°C)

連絡先
マイクロチップ・テクノロジー・ジャパン株式会社
メール: asia.inquiry@microchip.com



VELOCITY DRIVE
Accelerating Connectivity



MICROCHIP

microchip.com/LAN8660

Microchipの名称とロゴ、Microchipロゴは米国およびその他の国におけるMicrochip Technology Incorporatedの登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの登録商標権者に帰属します。
© 2026 Microchip Technology Inc. and its subsidiaries.
All rights reserved.

目次

1. MASTERsカンファレンス概要 4

2. 参加案内

- 2.1 参加対象者 5
- 2.2 登録・参加費のご案内 6
- 2.3 お支払い方法 7
- 2.4 キャンセルについて 7

3. 会場案内

- 3.1 会場・交通アクセス 8
- 3.2 フロアマップ 9

4. プログラム案内

- 4.1 カンファレンススケジュール 10
- 4.2 セッション一覧 11
- 4.3 セッション詳細 12-17

5. お問い合わせ 18

6. スポンサー 19

MASTERsカンファレンス概要

Japan MASTERs

Microchipは、25年以上にわたり世界各地で「MASTERsカンファレンス」を開催してまいりました。そしてこのたび、日本で初めてとなるMASTERsを開催いたします。

本カンファレンスは、日本市場向けに特別に企画されたプレミアムな対面型学習イベントです。Microchipの最新技術や専門知識を、より深くご理解いただける内容となっています。

開催日は2027年2月25日(木)・26日(金)、会場は東京・浜松町コンベンションホールです。全12セッションをご用意しており、そのうち4セッションは実践的なハンズオン形式で実施します。参加者の皆様のイノベーション創出や技術習得期間の短縮、さらには製品開発の加速を支援いたします。

また、データセンター＆コンピューティング、AI／機械学習（ML）＆エッジコンピューティング、ネットワーキング＆コネクティビティ、eモビリティ＆オートモーティブ、HMI＆コンシューマ、産業＆サステナビリティ、航空宇宙＆防衛など幅広い分野において、30種類以上のライブデモやリファレンスソリューションをご体験いただけます。さらに、Worldwide Field Applications Engineering シニアディレクターの Kyle Gaede による基調講演も予定しております。

本イベントでは、皆様が日々ご利用されているソリューションを支えるMicrochipのエンジニアから直接学び、すぐに活用できる実践的な知識とスキルを習得いただけます。ぜひこの機会にご参加いただき、次世代の設計開発をより迅速かつ効率的に実現するためのヒントをお持ち帰りください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

浜松町コンベンションホール
2月25日・26日



参加対象者

本カンファレンスは、組込み制御における技術課題の解決策を模索されている方や、Microchip製品に関する高度な知識・技術の習得を目指される方に最適なイベントです。設計エンジニアの皆様はもちろん、技術部門の管理職やプロジェクトリーダーの方々にも、ソリューションへの理解を深めていただくとともに、Microchipのエンジニアとの直接的な交流を通じて、新たな知見や価値ある情報を得ていただけます。

MASTERsプログラムを修了された方は、Microchip製品をより効果的に活用するための実践的な知識とスキルを身につけることができます。さらに、チャネルパートナーを通じて、無料のデモツアーへご登録いただくことも可能です。本ツアーでは、主要アプリケーション分野におけるライブデモやリファレンスデザインをご覧いただけるほか、弊社エンジニアとの技術的なディスカッションにご参加いただけます。Microchipの最新技術やソリューションをより深くご理解いただく絶好の機会として、ぜひご活用ください。

Japan MASTERs
登録・参加費のご案内

【登録】

参加者の皆様は、以下のサイトよりご登録をお願いいたします：
https://mchp.us/jpmasters
セッションの選択は登録手続きの際に行います。

登録締切：2027年2月19日

◎ 登録完了後、確認メールが自動送信されます。

◎ 参加費の全額入金確認後、Microchipより5営業日以内に追加の確認メールが送信されます。

◎ 確認メールが届かない場合は、Japan.MASTERs@microchip.com までご連絡ください。

開催14日前以降のキャンセルは全額請求となります。
（登録確定後にキャンセル連絡なしで欠席された場合も同様です）

【参加費】

2日間参加：27,000円（税込）
1日参加：18,000円（税込）

参加費に含まれる内容：

◎ カンファレンスセッションおよび資料へのアクセス

◎ ハンズオンラボでのノートPCおよび評価ボードの使用

◎ ビュッフェ形式のランチ

【早期割引】

2日間参加：24,000円（税込）
1日参加：16,000円（税込）
※11月27日までに登録・支払い完了の場合に適用

お支払い方法

1. 以下のいずれかの方法でお支払いを完了してください。

   オプション1: 登録時のオンラインクレジットカード決済

   オプション2: 銀行振込

   以下の銀行口座へお振込みください。

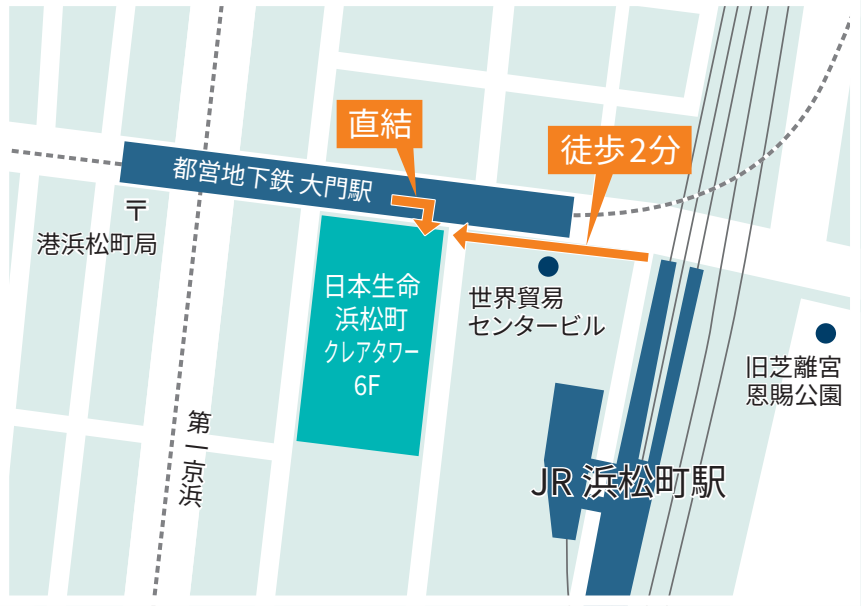
みずほ銀行　新横浜支店
普通預金　1319315
マイクロチップ・テクノロジー・ジャパン株式会社

2. お支払い後、お支払い**証明書と確認番号**(MASTERs Confirmation Number)を添えてJapan.MASTERs@microchip.com までメールでお送りください。
3. お支払い期限は、請求書発行日から1か月以内とします。

キャンセルについて

Japan　MASTERs開始日の14日前を過ぎてからのキャンセルには、カンファレンス参加費の全額が請求されます。参加枠が確保された後にキャンセルの連絡を行わなかった場合、または当日欠席された場合でも、参加費全額のお支払いが必要となります。

会場・交通アクセス



HAMAMATSUCHO CONVENTION HALL

浜松町コンベンションホール

◎ 〒 105-0013 東京都港区浜松町二丁目3番1号

◎ Tel: 03-6432-4075

◎ Fax: 03-6432-4076

◎ E-mail: info@hmc.conventionhall.jp

◎ URL: http://www.hmc.conventionhall.jp

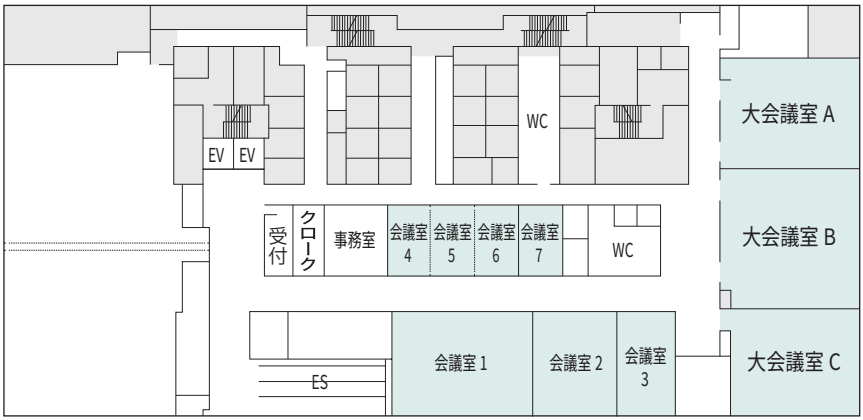
◎ 都営地下鉄大江戸線・浅草線

「大門」駅 直結

◎ JR山手線・京浜東北線・東京モノレール

「浜松町」駅 徒歩約 2 分

フロアマップ


EV
EV
WC
大会議室 A
受付
クローク
事務室
会議室 4
会議室 5
会議室 6
会議室 7
WC
大会議室 B
ES
会議室 1
会議室 2
会議室 3
大会議室 C

6F

カンファレンススケジュール

2月25日(木)

	会議室 1 30席	会議室 2 24席	会議室 3 20席	大会議室 C 30席	Demo tour 大会議室 A	大会議室 B
9:00	受付					
9:30	SEC4 Hands-on Part 1	MTR3 Hands-on Part 1	FPGA2 Instructor Demo	ETH2 Instructor Demo	Demo Setup	
10:00						
10:30	10:50 - 11:10, 休憩(20分)					
11:00						
11:30	SEC4 Hands-on Part 2	MTR3 Hands-on Part 2	HMI1 Instructor Demo	ETH3 Instructor Demo		
12:00						
12:30					Demo Room Free Access	昼食
13:00						
13:30						
14:00	SENS5 Hands-on Part 1	FPGA4 Hands-on Part 1	PWR1 Instructor Demo	PCIE1 Instructor Demo	Demo Room Invited Client Access Slot 1/3	
14:30						
15:00	15:20 - 15:40, 休憩(20分)					
15:30						
16:00	SENS5 Hands-on Part 2	FPGA4 Hands-on Part 2	MCU5 Presentation	HSLK1 Presentation		
16:30						
17:00						
17:30						

2月26日(金)

	会議室 1 30席	会議室 2 24席	会議室 3 20席	大会議室 C 30席	Demo tour 大会議室 A	大会議室 B
8:30	受付					
9:00						基調講演
9:30	SEC4 Hands-on Part 1	MTR3 Hands-on Part 1	FPGA2 Instructor Demo	ETH2 Instructor Demo	Demo Room Invited Client Access Slot 2/3	
10:00						
10:30	10:50 - 11:10, 休憩(20分)					
11:00						
11:30	SEC4 Hands-on Part 2	MTR3 Hands-on Part 2	HMI1 Instructor Demo	ETH3 Instructor Demo		
12:00						
12:30					Demo Room Free Access	昼食
13:00						
13:30						
14:00	SENS5 Hands-on Part 1	FPGA4 Hands-on Part 1	PWR1 Instructor Demo	PCIE1 Instructor Demo	Demo Room Invited Client Access Slot 3/3	
14:30						
15:00	15:20 - 15:40, 休憩(20分)					
15:30						
16:00	SENS5 Hands-on Part 2	FPGA4 Hands-on Part 2	MCU5 Presentation	HSLK1 Presentation		
16:30						
17:00						
17:30						

セッション一覧

セッション	タイトル	クラス種別	所要時間(分)	技術レベル
26072 SEC4	Managed Firmware-Over-The-Air Updates made Easy, Secure and Scalable	Hands-on Lab	160	3
26080 SENS5	Optimizing Sensor Data for AI/ML Applications	Hands-on Lab	160	2
26058 MTR3	Software Tools to Simplify Motor Control Development and Debugging: motorBench® Development Suite	Hands-on Lab	160	2
26038 FPGA4	FPGA Design With RISC-V Microcontroller Using Libero® SoC Design Suite Tools	Hands-on Lab	160	2
26036 FPGA2	FPGA Edge AI Basics: Concepts, Tools, and Demos With Microchip VectorBlox™	Instructor Demo	80	2
26062 PWR1	Mastering Digital Power Supply Designs With the dsPIC33A Digital Signal Controller	Instructor Demo	80	2
26082 ETH2	Using Microchip Ethernet Switches to Provide Deterministic, Reliable, and Scalable Connectivity	Instructor Demo	80	2
26083 ETH3	Revolutionising Connectivity to the Edge: Remote Control Endpoints Over 10BASE-T1S Single Pair Ethernet	Instructor Demo	80	1
26088 PCIE1	Understand and Configure Microchip PCIe® Gen 4 Low Lane Count Switches	Instructor Demo	80	2
26045 MCU5	Configurable Logic Block - Harnessing the Power of Programmable Logic in PIC® Microcontrollers	Instructor Demo	80	2
26054 HMI1	Capacitive Touch 2026-New Applications, New Parts, Updated Tools, Faster Application for Microchip Touch Solutions	Instructor Demo	80	1
26200 HSLK1	ASA and CoaXPress Introduction and Market Trend	Presentation	80	1

技術レベル:
1:そのトピックに関する事前知識は不要です
2:そのトピックに関する基本的な知識が必要です
3:そのトピックに関する中級レベルの知識が必要です

Hands-on Lab:
クラスで使用するノートパソコン、評価ボードはこちらで用意いたします。

セッション詳細

26072 SEC4 Managed Firmware-Over-The-Air Updates made Easy, Secure and Scalable

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
Yes	160	3

開発した接続機器が世界各地で導入され、それぞれがサイバー脅威や規制、監視の対象となり得る世界を想像してください。世界中の政府機関や業界団体がIoT(モノのインターネット)のセキュリティ基準を引き上げる中、組織は安全なファームウェア更新の提供や、大規模な暗号鍵管理という困難な課題に直面しています。本実践コースでは、セキュリティアーキテクトの立場となり、keySTREAM™プラットフォームとTrustMANAGERセキュアエレメントを活用して、堅牢で拡張性があり、コンプライアンスに準拠したセキュリティ基盤を構築する方法を学びます。本コース終了時には、デバイスを保護し国際的な基準を満たし組織のIoT機器導入を将来にわたって持続可能なものにするための実践的なスキルを習得することができます。

26080 SENS5 Optimizing Sensor Data for AI/ML Applications

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
Yes	160	2

本ハンズオントレーニングでは、AI/ML(人工知能/機械学習)プロジェクトに向けたセンサーの統合とデータ準備に焦点を当て、Microchip社製マイクロコントローラ(MCU)の可能性を最大限に引き出します。参加者は、センサーのセットアップや最適なサンプリングレートの選択方法を学ぶとともに、ノイズ低減、フィルタリング、データロギング、前処理、クリーニング、およびデータ保存に関するベストプラクティスを習得します。さらに、実践的な演習を通じてセンサーデータの収集、フォーマット、整理を行い、機械学習アプリケーションに最適化されたデータセットの構築手法を体験していただきます。本セッションの終了時には、Microchip製品を使用して高品質なデータセットを作成する実践的なスキルが身につき、データパイプラインの合理化や、Microchipエコシステムにおける新たなイノベーションの創出と開発能力の拡張が可能になります。

26058 MTR3

Software Tools to Simplify Motor Control Development and Debugging: motorBench® Development Suite

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
Yes	160	2

本セッションでは、motorBench® Development Suite を使用して、ブラシレス DC (BLDC) モーターおよび永久磁石同期モーター (PMSM) 向けのセンサ付/センサレス・ベクトル制御 (FOC：界磁方向制御) コードを生成し、開発プロセスを効率化する方法を学びます。motorBench® Development Suite は、コードを1行も書くことなく、実際に動作するモーター制御コードを生成できるツールです。
セッションの最後には、生成されたコードを簡単に修正し、モーター制御用の独自のステートマシンを実装する方法についても解説します。また、アルゴリズムのチューニングや、X2Cscope を使用したライブデバッグについても深く掘り下げ、モーター制御プロジェクトで発生する問題をリアルタイムでトラブルシューティングする手法を身につけていただきます。さらに、pyX2Cscope を活用して、モーター制御プロジェクトとリアルタイムに相互通信できるカスタム GUI アプリケーションを構築する方法の概要もご紹介します。
プロトタイピングの迅速化、あるいは開発プロセスの複雑さの軽減を目指している方に最適な内容となっています。堅牢なモーター制御ソリューションを迅速に構築・導入するための確かな技術を、本クラスでぜひ習得してください。

26038 FPGA4

FPGA Design With RISC-V Microcontroller Using Libero® SoC Design Suite Tools

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
Yes	160	2

本セッションでは、Libero® System-on-Chip (SoC) Design Suiteを用いて、カスタム・メモリおよび周辺機能を備えたシンプルなFPGAベースのRISC-Vマイクロ・コントローラを実装する実践的な演習を行います。RISC-V プロセッサ、メモリ、および周辺IPコアの選定と構成、さらにSmartDesign®キャンバスを用いたIPコアの接続を通じて、独自のマイクロ・コントローラを構築します。本講座の修了時には、用途に応じたカスタム・マイクロ・コントローラを設計するためのスキルを習得できます。

セッション詳細

26036 FPGA2

FPGA Edge AI Basics: Concepts, Tools, and Demos With Microchip VectorBlox™

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
No	80	2

本セッションでは、MicrochipのFPGAを活用したエッジAIの実装手法を紹介します。エッジ・コンピューティングの基礎と、低消費電力・高セキュリティ・決定論的遅延の AI システムを実現するMicrochip FPGAアーキテクチャの特長を解説します。さらに、PolarFire® SoC Video Kit上で動作するVectorBlox™ SDKおよびLibero® SoC Design Suite を用い、AI／機械学習モデルやニューラルネットワークを高速化するワークフローをデモ形式で学びます。本講座の終了時には、Microchip FPGA上でのエッジAIソリューションの評価・実装・最適化に必要な知識を習得します。

26062 PWR1

Mastering Digital Power Supply Designs With the dsPIC33A Digital Signal Controller

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
No	80	2

本セッションでは、実際に動作するデジタル電源を開発するための実践的な手法を紹介します。エンジニアは、初期仕様策定からファームウェア実装、ハードウェア検証に至るまで、各開発段階を順を追って学ぶことで、特に難易度の高い部分への理解を深め、実際の設計にすぐ活用できる明確かつ実践的な開発フローを習得できます。
また、本セッションでは講師によるデモも実施され、重要なコンセプトへの理解をさらに深めます。参加者は、MicrochipのMPLAB® PowerSmart™開発スイートおよびMPLAB Code Configurator(MCC)ツールを活用して、堅牢なデジタル電源アプリケーションの開発を効率化する方法を実際に確認でき、自身のプロジェクトにも応用可能な実践的知見を得ることができます。
また、dsPIC33Aのコアアーキテクチャ、高分解能PWM(Pulse-Width Modulation)や新しい高速ADC(Analog-to-Digital Converter)などの重要な周辺機能が、最新の電源設計においてどのように優れた制御性能と高性能化の実現に寄与するかの理解を深めることが可能です。

26082 ETH2

Using Microchip Ethernet Switches to Provide Deterministic, Reliable, and Scalable Connectivity

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
No	80	2

本セッションではMicrochip社のLAN96xxスイッチ System-on-Chip (SoC) と Linux® switchdev を使用して、産業用ネットワーク向け Ethernet スイッチのセットアップを実践的に学びます。
Linux 環境においてネットワークリンクを設定・管理する方法を学び、switchdev を活用して Virtual Local Area Network (VLAN) や Precision Time Protocol (PTP) といった高度な機能を有効化します。
また、Microchip のスイッチ用アプリケーションソフトウェアである IStaX のライブデモを体験し、Time-Aware Shaping (TAS) の設定方法を確認します。
本講座を通じて、拡張性が高く標準規格に基づいた Ethernet ソリューションを展開し、高性能な産業用ネットワーク接続のために TSN 機能を有効化できるようになります。
講座終了時には、参加者は Ethernet TSN 規格の理解、Microchip スイッチの設定に関する実践的な経験、そして産業用途におけるネットワーク性能向上のために TSN 機能を適用する能力を身につけます。

26083 ETH3

Revolutionising Connectivity to the Edge: Remote Control Endpoints Over 10BASE-T1S Single Pair Ethernet

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
No	80	1

本セッションは、10BASE-T1S Single Pair Ethernetを使い、センサやアクチュエータなどのエッジノードをEthernetへ直接接続するEndpoint技術を紹介します。
RCPにより、GPIO、I2C、SPI、UARTなどのローカルインターフェイスをネットワーク越しに制御・監視できます。
これにより、末端ノードのMCUレス化、ソフトウェア開発負荷の低減、OTA更新対象の削減が期待できます。
さらに、ゾーンアーキテクチャにおける配線削減や、制御・照明・オーディオ機能のEthernet統合にも貢献します。

セッション詳細

26088 PCIE1

Understand and Configure Microchip PCIe® Gen 4 Low Lane Count Switches

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
No	80	2

本セッションでは、PCI Express(PCIe)の仕組みを「知識」だけでなく「見て理解する」機会として、PCIeの基本から解析・評価までを、実機デモを交えながらご紹介します。
まず、Microchip社PCIe Switch PCI100xの評価ボードを使いながら、PCIe規格の概要をおさらいします。次に、PCI100xの特長機能を、活用例とともに解説します。そして、開発ツールChipLinkの持つ、PCIeアナライザ・性能モニタ・Eye Captureといった各種機能を利用し、解析・評価を実演します。
PCIeの基礎を押さえたい方はもちろん、経験を積んだ開発者にとっても、すぐに役立つヒントが得られる内容です。

26045 MCU5

Configurable Logic Block - Harnessing the Power of Programmable Logic in PIC® Microcontrollers

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
No	80	2

Configurable Logic Block(CLB)は、FPGAのようなプログラマブル・ロジック機能をPIC® MCUに統合することで、外部ロジックデバイスを使用せずにカスタムハードウェア機能を実装できるようにします。
本セッションの前半では、CLBの基本アーキテクチャとして、Look-Up Table(LUT)、シーケンシャルロジック、記憶素子、クロッキング、プログラマブル配線について紹介します。また、CLB Logic設定ツールの使用方法をデモンストレーションし、回路図入力、階層設計、ライブラリ部品を活用した設計作成方法についても説明します。
後半では、一連のライブデモを通じて、CLBを活用したカスタムペリフェラルの構築、リアルタイム処理の高速化、および組み込みシステム設計の簡素化について紹介します。さらに、高度なアプリケーション例を取り上げるとともに、Verilog®を用いたCLB設定についても簡単に解説します。なお、Verilogの事前知識は不要です。

26054 HMI1

Capacitive Touch 2026 - New Applications, New Parts, Updated Tools, Faster Application for Microchip Touch Solutions

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
No	80	1

本セッションでは、講義とライブデモを通して、Microchip独自のタッチ技術による新しい活用方法をご紹介します。
また、新しいデバイスやツールを活用して、湿気や水滴、高ノイズ環境、安全認証など、タッチインターフェース設計でよくある課題をどのように解決できるかをご紹介します。さらに、統合されたタッチ開発ツールチェーンを活用し、開発工数を最小限に抑える方法について学んでいただけます。加えて、プログラム不要タッチIC（ターンキー・デバイス）についてもご紹介します。これらの製品は、迅速に導入でき、使いやすく、Microchipのタッチ性能を最大限に発揮します。最新世代のターンキー・デバイスでは、感度調整やI^2Cインターフェース用のホストコード作成が不要であることをご存じでしょうか。本セッションでは、こうした点を含め多くの内容をご紹介します。さらに、拡充を続けるMicrochipのmaXTouch®タッチスクリーンコントローラ製品群をご紹介するとともに、マルチタッチ対応ユーザーインターフェースへの容易な組み込み方法や活用方法についても解説します。

26200 HSLK1

ASA and CoaXPress Introduction and Market Trend

ハンズオン有無	所要時間(分)	技術レベル
No	80	1

ASA-MLは、Automotive SerDes Alliance（ASA）が策定したオープンスタンダードのSerDes技術であり、異なるベンダー間での相互運用性と高い拡張性を提供します。一方、CoaXPressは産業機器分野を中心に広く採用されている高速シリアル通信技術です。
本セッションでは、ASA-MLおよびCoaXPressの技術概要を紹介するとともに、自動車分野および産業分野における市場動向や今後の技術トレンドについてご案内します。

お問い合わせ

ご不明な点がございましたらJapan.MASTERs@microchip.com
までお気軽にお問い合わせください。



スポンサー

AVNET

GLOBAL ELECTRONICS

MACNICA

Marubun Since 1844

MCM Japan Ltd.

SOLUTION SUPPLIER PALTEK

リョーサン菱洋 RYOYO RYOSAN

新光商事株式会社 Shinko Shoji Co.,Ltd.

TACHIBANA ELETECH 株式会社立花エレテック



Microchip社の名称とロゴ、Microchipロゴは米国およびその他の国におけるMicrochip Technology Incorporatedの登録商標です。
本書に記載されているその他の商標は各社に帰属します。

© 2026, Microchip Technology Incorporated, All Rights Reserved.